

ある町の天気相談所

Vol.28
2020.4.3

令和2年4月号



さくらの開花

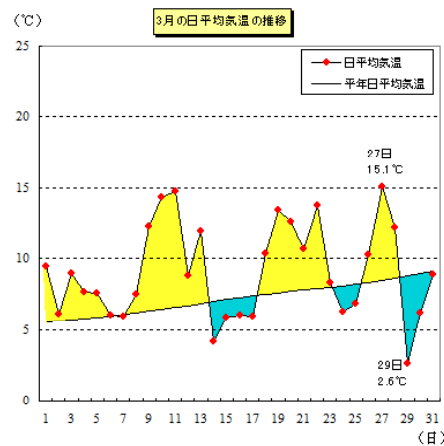
令和2年のさくらの開花は、過去最も早い記録と並び、満開は過去2番目に早い記録となりました。平和通り
3月21日開花、3月30日満開
かみね公園
3月23日開花、4月1日満開



2020年4月2日の様子

3月の気候

3月は、月平均気温が9.1度と3か月連続でかなり高くなり、3月としては高い方から4位となりました。後半を中心に、周期的に天気が変わり、3月14日と29日には市役所でも雪が降りましたが、22日の最高気温は3月として3番目に高い気温を記録するなど、気温の差が大きくなりました。月合計の降水量は11.1ミリと平常並みとなり、日照時間は203.8時間と平常より多くなりました。



1カ月予報 (気象庁発表)

4月は、天気は数日の周期で変わり、晴れの日も多い見込みです。前半の気温は「平常並みか低い」、後半は「平常並みか高い」降水量、日照時間はともに「ほぼ平常並」の予想です。

天気相談所のあゆみ

さくらの観測

生活情報のひとつとして、季節の遅れ進み、他の地域との気候の違いなどの推移を把握するため、植物季節観測として、さくらの観測を行っています。

かみね公園の、南側駐車場近くにあるソメイヨシノを基準の木(標本木)としており、天気相談所誕生後すぐの昭和28年のさくらの時期から観測をはじめていきます。また、かみね公園より早く開花する、日立駅前の平和通りについても、昭和57年から開花状況について記録していきます。

かみね公園の標本木は5本あります。通常は1本のことが多いようですが、5本ある理由は、「枯れても影響がでないように」などと言われますが、記録が残っていないため、よくわからないのが実際のところなんです。この5本の木は、種類や場所は一緒ですが、咲く時期がそろっていないわけではなく、早めの木と遅めの木があります。それぞれの木で開花や満開を判断し、それが何本あるかで、標本木の開花や満開を判断しています。

天気用語の基礎知識

過去最高

気温などの観測結果が、過去、同じ観測所で最も高かった時などに使います。ある期間(1日や1か月など)で区切られた期間の最大の時もあります。基本的には同じ場所での観測となります。通常、観測の継続期間が長い方が過去最高が出現しにくいと、日立市のように70年近い観測があると、過去最高は出現しにくいですが、逆に、出現した際は、異常に高い値だとも言えます。

神峰の山から

開花、満開とも早い記録となりましたが、開花してからは寒い日も多くなり、満開まではやや時間がかかりました。もし、もう少し早くに寒い日が増えていたら、開花も遅くなったと思われ、予測の難しさを感じた春でした。

先月、天気相談所は新聞社からの取材を受けました。東京の記者の方で、その方も気象予報士の資格を持っており、天気相談所の業務や歴史などについて取材されていきました。紙面2ページにわたり掲載されました。

ただ、茨城県では配達されない新聞でしたが。